

2018年度 第14回研究力伸長セミナー

統計セミナー2018[series2] アンケート調査結果報告書

- 1)調査目的 本調査は、統計セミナー2018[series2]において、参加者の属性、セミナーの満足度、ニーズ等を把握し、今後の事業計画等の参考とすることを目的とする。
- 2)調査対象 統計セミナー2018[series2]参加者全員
- 3)調査方法 統計セミナー2018[series2]終了後、アンケート調査票に記入
- 4)実施日 平成30年11月27日(火)

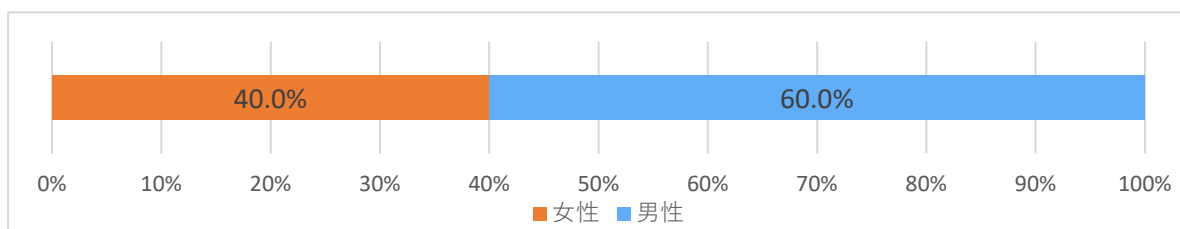
■アンケート集計結果

回答数 対象者74名、回答者55名
 回答率 74.3%

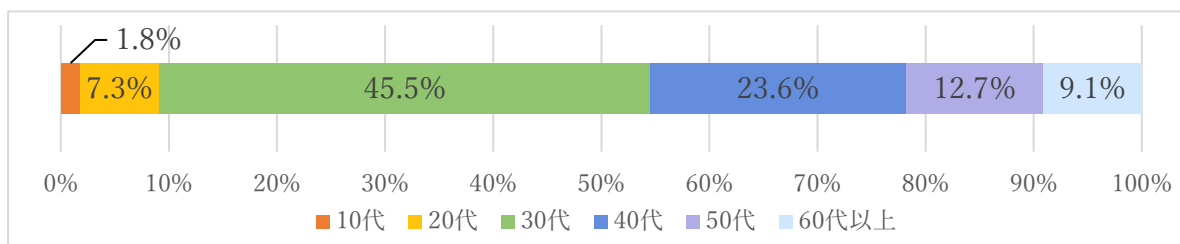
■アンケート調査結果

○回答者の属性

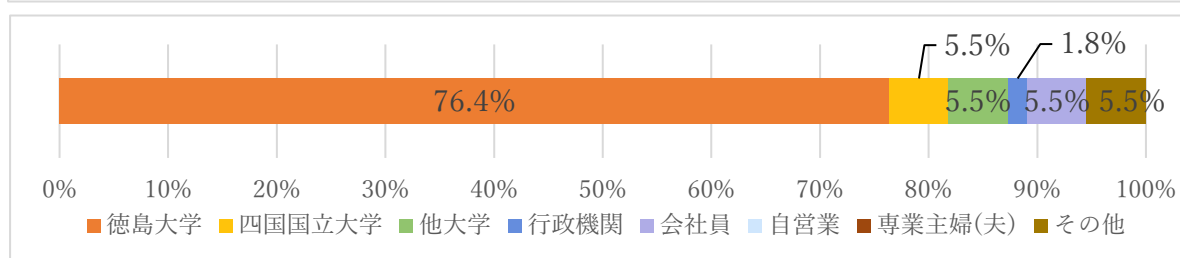
◆性別



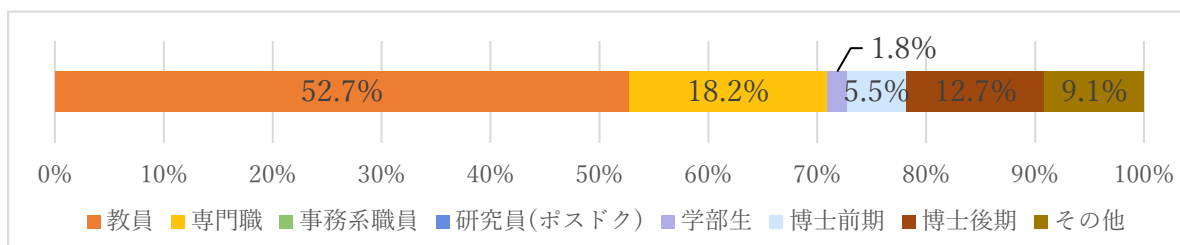
◆年齢



◆所属



◆職種



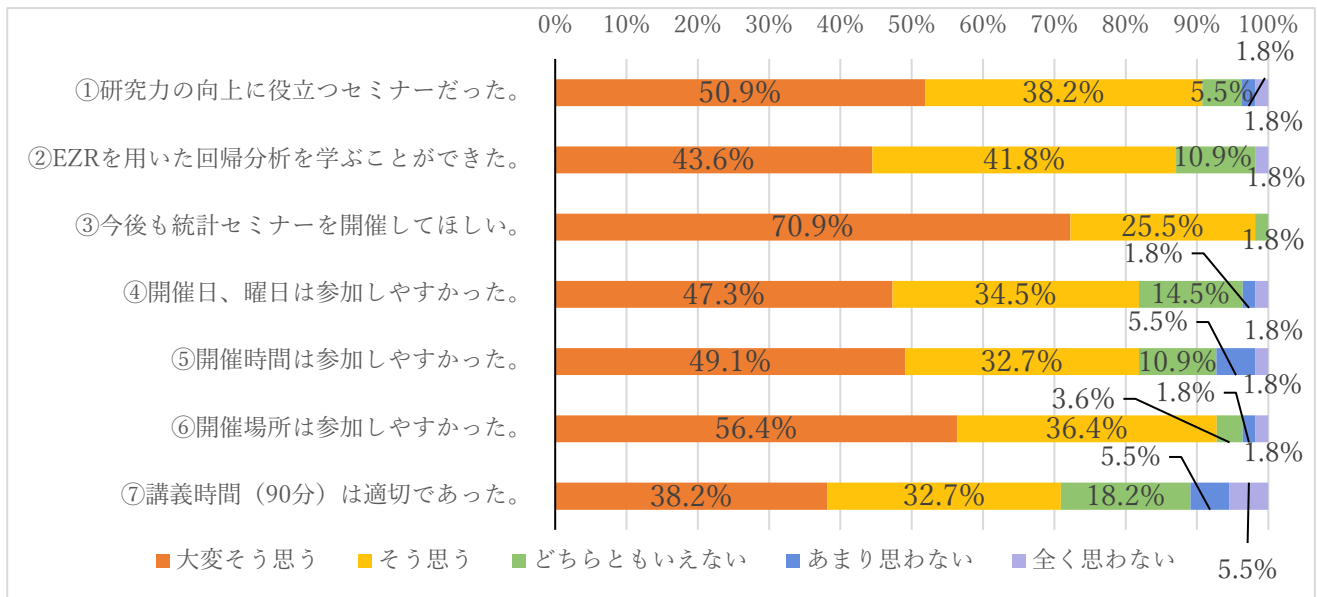
回答者の性別は、女性が40.0%で男性が60.0%であった。

年齢は30代、40代が多く、69.1%で、20代から60代以上まで幅広い年代層の参加があった。

所属は、徳島大学が76.4%で、他機関から23.8%の参加があった。

職種は、教員が52.7%と最も多く、次いで専門職の参加が18.2%であった。

問 以下の質問事項について、該当するものにチェックをいれてください。

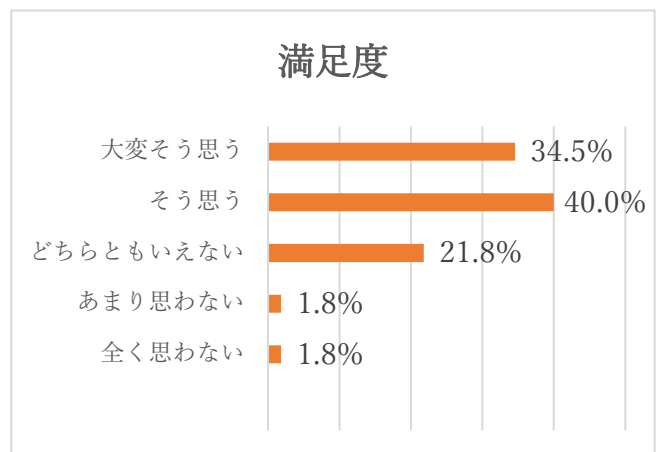


『研究力の向上に役立つセミナーだった』に対して、89.1%が『大変そう思う』『そう思う』と回答し、『EZRを用いた回帰分析を学ぶことができた』に対して、43.6%が『大変そう思う』41.8%が『そう思う』と回答しており、セミナーへの評価は高かった。また、『今後も統計セミナーを開催してほしい』に対して、96.4%が『大変そう思う』『そう思う』と回答しており、ニーズの高いことがわかった。

開催形式については、各項目の『参加しやすかった』に対して、『開催日、曜日』81.8%、『開催時間』81.8%、『開催場所』92.8%が『大変そう思う』『そう思う』と回答しており、『講義時間(90分)は適切であった』に対しても、70.9%が『大変そう思う』『そう思う』と回答しており、参加しやすい開催形式と適切な講義時間あったと考えられる。

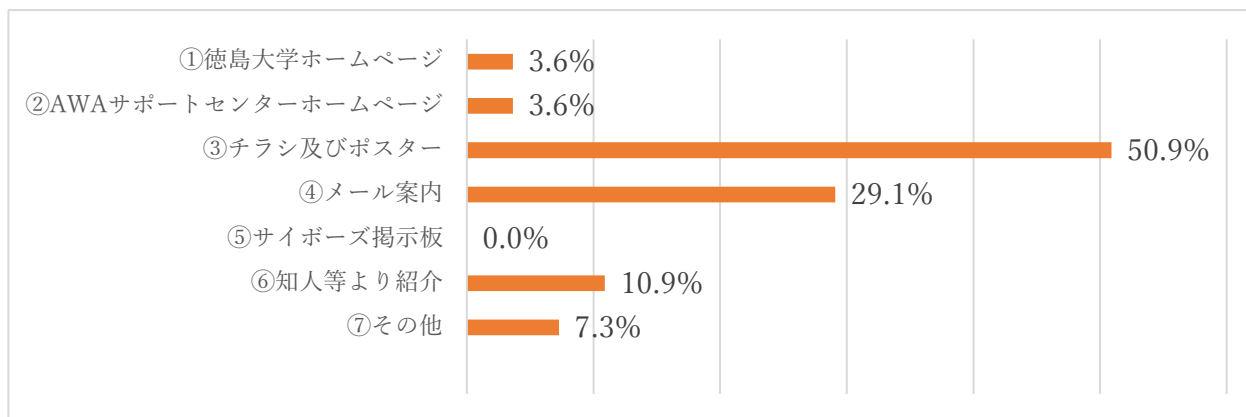
⑧本セミナーに期待していた。

⑨本セミナーは期待どおりだった。



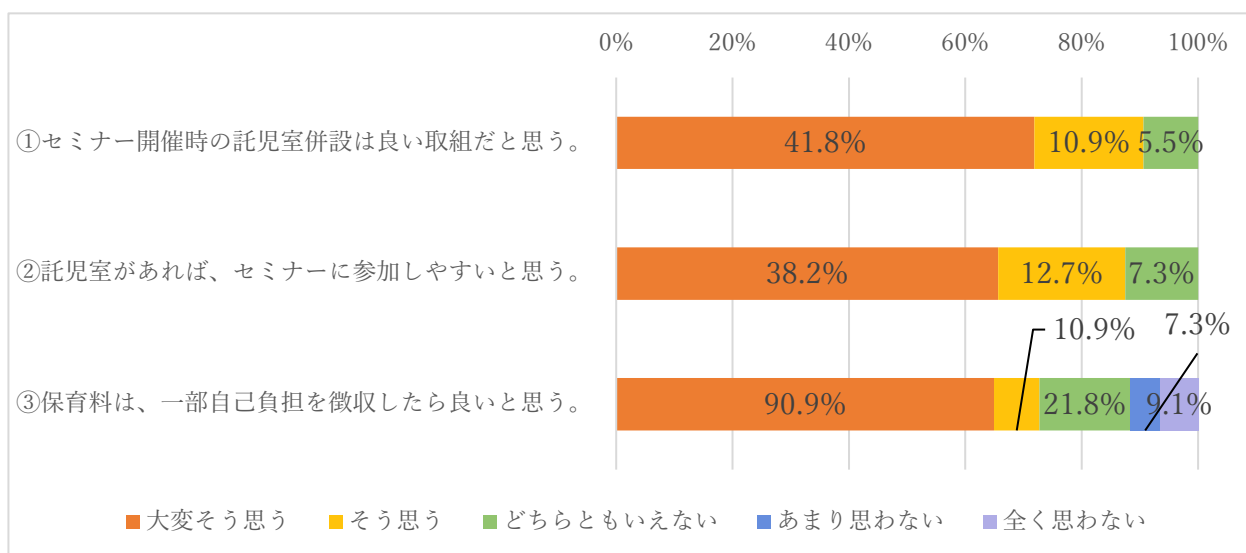
期待度は、『本セミナーに期待していた』に対して、94.6%が『大変そう思う』『そう思う』と回答しており、満足度は、『本セミナーは期待どおりだった』に対して、74.5%が『大変そう思う』『そう思う』と回答している。また、期待度の平均値は4.4点、満足度は4.0点であり、期待度、満足度ともに高かったが、満足度が期待度を超えていなかった。

問 統計セミナー2018[series2]の開催を何で知りましたか。該当する箇所すべてにチェックをいれてください。



開催の広報効果については、『チラシ及びポスター』が 50.9%と最も高く、次いで『メール案内』が 29.1%、『知人より紹介』が 10.9%と高かった。最も効果が低かった周知方法は、『サイボーズ掲示板』で、0%であった。

問 受講者全員回答：託児室を併設したセミナー（夕方または休日の開催時）の開催についてお伺いします。



『セミナー開催時の託児室併設は良い取組だと思う』に対して、52.7%が『大変そう思う』『そう思う』と回答し、『託児室があれば、セミナーに参加しやすいと思う』に対して、50.9%が『大変そう思う』『そう思う』と回答しており、概ね、セミナーに参加するための有用な取組との見解が高めであることがわかった。

一方、『保育料は、一部自己負担を徴収したら良いと思う』に対して、101.8%が『大変そう思う』『そう思う』と回答し、21.8%が『どちらともいえない』、7.3%が『あまり思わない』と回答しており、保育料の一部自己負担については見解に相違が見られる。